

令和3年度 後期自己評価に対する 学校運営協議会の評価

総合評価		自己評価は	【適正評価の表記】	
ABCDのいずれか			A 適切である	B 概ね適切である
A 58%	B 42%		C やや不適切である	D 不適切である
B 42%	C 0%			
C 0%	D 0%			

項目	観点	評価項目	前期	後期	ABCDのいずれかを記入	学校運営協議会からの意見
1	まなび	学び合い	B	A	A 58% B 42% C 0% D 0%	<ul style="list-style-type: none"> ●A <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに学び合う活動の評価が上がって良いことだと思います。 ・トーク・フォーカダンスやまわし読み新聞を実施した後は、子ども達の感性や意識が向上していくのを感じます。 ・今年度タブレットが導入され、学習の効果はさておき、社会の流れに対応していることを学んでいることこそ、タブレット学習の成果だと思います。 ・様々な制限がある中でも、生徒自身が対話を通して考えを深めていると答えていることに、先生方の努力がうかがえます。 ・家庭学習に関しては、eライブラリーなどの工夫をさせていただいており、後は家庭の教育力を上げることも大事だと思います。 ・家庭学習は学年が上がると定着しているようですが、1年生が少ないのが気になります。 ・ICTを活用した授業は、機会平等の視点からも、素晴らしいと思います。 ・タブレットをツールの1つとして使っていくことが大切だと考えます。「何のために使うのか」という目的意識もしっかり持たせていく必要があります。 ●B <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者のAIに対し、教職員はBという評価の隔りがあり、残念に思う。先生方の頑張り子どもたちの頑張り「見える化」を進めていただきたい。 ・中学校に進学したばかりの1年生にとっては期待外れだったかも知れませんが、高校受験がある3年生はさすがに勉強は頑張ったのでしょうか。ただかなり家庭環境によって差が出たのではないのでしょうか。
2		家庭学習	B	B		
3	こころ	自尊感情	B	B	A 16% B 84% C 0% D 0%	<ul style="list-style-type: none"> ●A <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情を高めるためには、自己有用感を高めることが必要だと考えます。取り組みは素晴らしいものがたくさんありますので、「自分が役に立った」と思わせることが必要だと思います。 ・行事が減ったことで、他者からの評価を受ける機会が少なくなっている中では、子供たちの様々な成長はうれしい限りです。学校生活を楽しく感じてもらえることが、更に成長を促すと思います。 ・福津市はかつてから自尊感情の高まりが課題でした。 ・自尊感情で、1年生の4人に1人が否定的な回答なのが気になります。 ●B <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情は形にならない、実感できないのかもしれませんが、お互いで、良いところを発見し、教えてあげる取り組みをしてはどうでしょうか。 ・自尊感情に関して、先生や保護者は褒めていると言っているにもかかわらず、生徒が良いところがあると感じていない。学年が上がるにつれて自尊感情が高まってきていることは良いことだと思います。 ・これからも温かい声かけをよろしくお願いします。 ・人とのつながりを感じにくい状況の中で、自尊感情も育ちにくいと思いますが、このような状況であるからこそ、まずは自分を大切に、自分が自分を認めるところに立ち返る関わりをしていただけたらと思います。 ・自尊感情の生徒と保護者の差が気になる。生徒自身が、集団活動だけでなく個人として参画できるようなこと(下校時のゴミ拾い、地域の人への挨拶など)に、日常から取り組めると自尊心が高まると思う。 ・冬に半袖着用の生徒を見ると心配になります。 ・決められたことはよく守る傾向があるように見えます。 ・校則を守ることはしっかりできているが、学校生活を楽しくしているかと言われると、Bの評価であることは残念です。あいさつの面では生徒の評価が下がったことも残念です。 ・あいさつでの生徒の自己評価がBに下がったことは残念です。 ・挨拶においては学校の内外での差が大きいです。学校内ではきちんとあいさつをしますが、学校外では、こちらから挨拶しても完全に無視したり、複数でいる時1人でも挨拶すると、数歩離れた時に挨拶した人を冷やかしています。 ・あいさつについては、しっかりとできていると思われます。意識することなく、自然な挨拶ができています。今後もあいさつ運動を続けていただきたいと思います(クラス毎の)。
4		学校生活の充実	B	A		
5		規範意識	A	A		
6		あいさつ	B	B		
7		人権尊重	A	A		
8	からだ	体力向上	B	B	A 25% B 75% C 0% D 0%	<ul style="list-style-type: none"> ●A <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で運動がなかなかできないからこそ、食事を大事にしたいと感じます。 ・朝食を食べることは1日のスタートです。1年生の5人に1人があまり食べないのが気になります。 ・体力向上を目指すための体育の授業や部活動が、コロナ禍で思うようにできなかったことが悔やまれます。 ・日々どこでもできる体力向上の取り組みを考えていかなければならないと思います。 ●B <ul style="list-style-type: none"> ・4月からの新校舎での生徒たちの行動が、大きく広くなることに期待したいと思います。 ・子供たちがちゃんと朝食をとっているか少し疑問があります。 ・筋肉量の少ない人は将来フレイル・サルコペニアになりかねない。大人になって困らないように、運動してしっかり栄養もつけてもらいたいと思います。 ・食の質が良くないと良い生活はできないと考えます。
9		食生活	B	B		
10	家庭地域	地域参画	B	B	A 25% B 75% C 0% D 0%	<ul style="list-style-type: none"> ●A <ul style="list-style-type: none"> ・コロナだからといって中止にせず、やり方を工夫して開催したことは、良かったと思います。 ・地域への取り組みは素晴らしいと思いました。目的をしっかり持たせることで、もっと愛着を持つことにつながると思いました。 ・コロナ禍で地域との交流や参画が中止になり、したくでもできなかったことが評価にも表れています。 ●B <ul style="list-style-type: none"> ・地域参画において保護者の認識が薄いと思います。PTAを通して、保護者への説明が必要ではないでしょうか。 ・まわし読み新聞やトーク・フォーカダンスでは、地域や保護者の参加が少なかったのが残念でした。 ・子どもたちのために、地域や保護者も学校のことを他人事とせず関わって欲しいと思います。 ・コロナ禍を理由にせず、コロナ禍の中で何ができるかを考えると良いのではないのでしょうか。 ・コロナ禍では、直接対面しての地域との関わりは難しいことと思います。地域への情報発信や地域からの情報収集などをすることで、間接的にでも、地域とのつながりを感じられると思います。 ・SNSの使い方は家庭教育です。 ・SNSは生徒連に絶えず話題にして欲しいテーマです。 ・保護者や先生・生徒度合いにいくらかギャップがあるように感じられます。 ・地域に関心を持つよう、地域での出来事をニュースにてくれるクラブや委員会があると良い。
11		地域への関心	B	B		
12		SNSとの関わり	B	B		

評価項目以外のものに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室が有るか無いかは、とても気になります。 ・地域に開かれた学校の具体化の手立てとして、新校舎の使用(図書館・CSルーム)が1つの手がかりになることを期待します。
-----------------	--